

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報

月形町

年末年始号



新年明けましておめでとうございます!!

12月のこよみ

(大) 師走(しわす)

すべてのことを「為果す」月。

- 21日【冬至】一年で最も昼が短い
- 23日【天皇誕生日】
- 31日【年越し】

1月のこよみ

(大) 睦月(むつき)

おつきあう、つましくするという意味で、すべてのものが気持ちを寄せ合って新しい年を迎える月。

- 1日【元旦】年賀・初詣
- 5日【小寒】寒気がだんだん強くなる
- 7日【七草】七草を入れたお粥を食べる
- 9日【成人式】
- 11日【鏡開き】お供えした鏡餅を割って食べる
- 20日【大寒】ひどく寒いとき

12月の行事予定

- 27日 第11回理事会
- 30日 業務納め

1月の行事予定

- 6日 仕事始め
役職員新年交礼会
- 24日 第12回理事会
- 31日 給油所棚卸



URL: <http://www.hamanasu.to/ja-moon>



新年のご挨拶

代表理事組合長

水口裕行

平成二九年(二〇一七年)の初春をご家族皆様にご健勝で迎えられましたことに農協役職員を代表しまして、心からお祝いを申し上げます。

また、日頃よりJ.Aの事業運営に対しご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ると四月中旬以降は高温・多湿となり田植え前には低気圧の影響により一時的に気温も低く推移しましたが、融雪も順調に進み天候も概ね好転し播種・定植など良好に春耕期作業がスタートしました。

その後、六月上旬からの低温・寡照で生育は抑制されましたが下旬には天候が回復し、七月下旬はやや低温傾向と推移してきました。

八月には三つの台風が北海道に上陸し、オホーツク・十勝・上川方面で農業被害が発生しました。

お陰様で月形町は台風の直接被害は免れましたが、その影響により八月は長雨続きでありましたが概ね天候は高温で推移し、九月中旬から下旬にかけては平均気温が平年並に推移しましたが降雨は平年より若干多く経過した事により、一部の農作物・収穫作業に影響が生じました。

農作物全般にわたりまして個人差

はありましたが、生育と集荷量は概ね順調に推移しました。

主要作物である水稲については、肥培管理や防除対策など基本技術の励行を徹底した結果、作況指数は南空知一〇二〇五年続けての平年作以上となりました。

品質は登熟期間の高温等の影響により心白・腹白などの未熟粒が多く製品歩留まりが少ない傾向となりました。

花きについては、お盆明けの価格暴落により厳しい展開を強いられ、その後、九月後半から一〇月にかけては相場も回復しましたが、平均単価は前年割れとなり販売取扱高は大きく減少となりました。

果菜類については、作付面積の減少などもあり取扱量は減少したものの、ケース平均単価アップにより前年並みの販売取扱高となりました。

小麦については雪腐病による被害は少なかつたものの、八月の長雨の影響もあり収量・品質は概ね平年並みの収量となりました。

また、月形町では被害はありませんでしたが全道的に小麦の「なまぐさ黒穂病」が確認されました。

大豆については一部播種作業の遅れ

や六月の低温・日照不足により初期生育はやや遅れましたが、八月から九月が高温で経過し成熟期に於いてはほぼ平年並みまで回復しました。

しかし収穫期の一〇月は降雨が続く作業の遅れや品質低下が見られました。

ミニトマトについては、バラ搬入選別機の導入による相乗効果もあり、取扱高一億円を突破する事が出来ました。

肉用牛については昨年からの高値安定相場が持続し、計画を大きく上回る取扱高が見込まれます。

一方、農業を取り巻く環境は、日本の将来に関する重要課題である環太平洋連携協定(TPP)が国会で大筋合意され農業者は将来への大きな不安と政府に対する強い不信・憤りを抱いている中で、アメリカ合衆国大統領選挙でトランプ氏が当選し、オバマ氏に変わり世界のリーダー的存在である経済大国の舵取りをする事になり、アメリカの自動車産業などが不利になるTPPには大反対の姿勢であり、今後、日本との二国間協定を強引に押しつけてくる事が懸念されます。

また、農業に精通した委員が一人もいない、農業に素人な構成員の規制改革会議で議論され先送りされたものの再浮上りが懸念される農政改革は、いつのまにか農協や農協組織の改革にすり替わり、国民をたぶらかして見当違いの改革を売り込み結果として日本農業を壊滅に追い込む愚だけは避けなければなりません。

我が国の農業現場においては先行き不透明な情勢であり、今後の成り行き

を注視する必要がありますし、生産現場では農業経営の将来展望が描けず担い手や後継者の経営承継に大きな影響と経営基盤の弱体化が懸念されます。

農家の所得増大に結びつく具体的な農業政策を早急に示すべきであり、政府には農家目線に立った認識をしてもらう必要があります。

これから一〇年・二〇年先を考えるとは農業所得補償対策いかによっては非常に厳しい農業経営を強いられる状況にありますが、JA自己改革を視野に入れながら、役割を果たすべく役員一体となつて努力して参りますのでご協力をお願いいたします。

組合員・ご家族のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、二〇一七年がよい年でありますよう新年にあたってのご挨拶といたします。

謹賀新年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

代表理事組合長	水口裕行
専務理事	阿部憲二
常務理事	村瀬 昇
理 事	山本博幸
理 事	中嶋雅義
理 事	中條秀雄
代表 監 事	平尾元一
監 事	柳 彰 憲
員 外 監 事	伊藤隆之

新年にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田稔章



平成二九年の年頭にあたり

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成二九年の新年を迎えられたものとお心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます次第です。

昨年の北海道農業は春先からの天候不順、八月中旬から相次いで上陸・接近した四つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところであります。

今後とも、JAグループ北海道は組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展

に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があつた一年でした。

JAグループ北海道は今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在JAグループ北海道は第二八回JA北海道大会のメインテーマである「北海道五五〇万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道五五〇万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は食料の安定供給という国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道はその責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対す

る幅広い理解と共感を得るべく道民五五〇万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるよう努力して参ります。

結びになりますが、今年の干支は丁酉（ひのと）です。

一説には、丁は「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことでもあります。

今年はこの酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。



各生産組合 平成28年度出荷反省会

11月22日に月形蔬菜生産組合、11月28日に月形花き生産組合、12月2日に月形ミニトマト生産組合の出荷反省会が開催されました。

各反省会ではJA担当者から今年の出荷状況や販売額などについて報告が行われ、来年の組織運営に向けて生産者、市場関係者、当農協職員の間で意見交換が行われました。



月形蔬菜生産組合



月形花き生産組合



月形ミニトマト生産組合

JA月形町青年部 道外視察研修

11月8日から10日の2泊3日の行程にて、青年部役員7名、一般部員3名、引率者1名の計11名で沖縄に視察研修に行って参りました。

主な視察場所は①JA おきなわファーマーズマーケット②沖縄食糧(株)③オリオンビール工場です。



那覇空港から程近い場所にあるJA おきなわ食菜館「とよさき菜々色畑」店を訪れました。

JAおきなわでは自分達の作った農産物を少しでも地元の人に食べてもらいたいという思いから、平成14年に第1号店が誕生し、その後次々と店舗を増やし現在県内に10店舗あるということでした。

我々が訪れたお店は売場規模は最小ですが、空港から一番近いことや、女性部の方が交代で運営する食堂もあり、連日多くの方に利用されているということでした。また、消費者の反応がダイレクトに返

ってくるので、やりがいと責任感が強くなったともお話をされていました。

翌日は沖縄食糧(株)にて担当の方から北海道米への期待と労いの言葉を頂きました。沖縄では「なつぼし」と「きらら397」を5割ずつでブレンドした「守礼」という商品が一番の売れ筋だということ、「ゆめぴりか」のブランド力のアピールと正規ルートで取引していることを示すため『認定マーク』を商品に表示し、テレビ等でCMも流しているとお話されていました。我々が作った米が日本最南端の沖縄でこんなに評価されていることに嬉しく思い、また視察に来た多くの部員が米を生産していることもあり、活発な意見交換ができました。

最後に訪れたオリオンビール工場ではビール工場見学はもちろん、戦後の米軍施政下にある時代に設立された会社として、現在に至るまで「地域社会への貢献・食文化への寄与」を目指してきた経営スタンスの一端を感じることができました。一緒に参加した部員と様々な話ができたり、視察先で目にしたもの、担当の方から教えて頂いたもの、短い時間ではありましたが学ぶことの多い視察研修となりました。(青年部 安倍 慎)



空知農民連合 委員長・副委員長研修報告

日程：平成 28 年 11 月 7 日～ 10 日 研修先：東京、四国
参加者：空知農民連合、管内各農民協・農連より総勢 33 名

『農林水産省との意見交換』

参議院議員会館の会議室にて、今回は徳永エリ代議士同席のもと意見交換が行われた。農水省の対応者お二人から説明をいただき、特に収入保険は不明な点も多く、確認などを中心に、また経営安定所得対策では財務省から厳しく指摘されている水田活用交付金などの質疑を行った。ほか米政策などについても幅広い意見交換となった。

政策統括官付 経営安定対策室 今野 聡 室長

畑作の直接支払交付金は、来年に向けて見直しが検討されており、品目毎の都合ではなく、算定のルールを守ることが必要。

水田活用の直接支払交付金やナラシ対策は、厳しい指摘や収入保険との兼ね合いもあるが、継続したい。

経営局 保険課 保険数理室 窪山 富士男 室長

収入保険制度は、順調にいけば 31 年産からの実施。対象者は、基本的には 5 年間の実績のある青色申告者で、基準収入は過去 5 年間の平均収入。保険の支払時期が確定申告後、つまり翌年になるので減収当年の資金繰りが問題。農業共済、ナラシといった類似制度との整理については、工夫が必要か。

Q：現在の米の直接支払交付金 7500 円の財源はそのまま米に？

A：農水省内の農地担当や保険担当などもその財源 700 億円を狙っており、米として頑張ってしっかりと議論したい。

Q：越年して保険金が入ってくると、税金や資金繰りで困る。つなぎについては？

A：仮払いは困難。積立金の扱いについては、今後、税制改正の要望などを検討したい。

Q：青色申告の簡易申告者も対象か。消費税は？

A：簡易も対象。消費税は非（不）課税。

Q：再生産が可能となるよう、業務用米へ産地交付金を使えないのか。

A：そもそも再生産できないような価格では売らないぐらいの強気の意思が必要では。

Q：販売価格と生産費の差を補填するのを、認定農業者に絞っては？

A：そこに目を付けた中間搾取がまた出てくる可能性も。慎重な仕組みが必要か。

Q：交付金で、今後畔のない水田の扱いは？

A：事実、財務省からの指摘がある。今後水田の定義などの議論はあるかもしれないが、現時点では支払わないということはない。

などなど。

いつもながら、私たち空知連合に対しては、農水省も丁寧に対応してくれ、農民団体としての絶え間ない中央行動、運動の重要性を認識しました。

四国研修・見学先

松山城、今治タオル美術館、大歩危溪谷、金比羅宮、瀬戸大橋、小豆島、栗林公園

今や全国区の地場産品…今治のタオル、小豆島のオリーブ製品・醤油・そうめん、讃岐うどん等

史跡、景勝地…松山城、大歩危溪谷、金比羅宮、小豆島、栗林公園

旅情を掻き立てる取り組み（坊ちゃんのマドンナ姿のローブウエイの女子駅員、坊ちゃん電車にボンネットバス、島ぐるみの芸術祭、島の形や民謡・唄をモチーフにした割り箸袋・コースター・お膳の紙の覆い、文学作品との連携、参道の石の灯籠等）、また、瀬戸内・カンキツ・山の上の集落といった、温暖さとともに道内との違いを感じさせる四国の風景。

土地の食材を使った料理…瀬戸内の魚、四国や島の農産物、産品を使った一品

行く先々では海外からの観光客が多く、リピート対策も含め、その対応が今後とも求められる。

見聞を広げるとともに、空知農民連合や各地区の農民協の役員の方々と親睦を深める機会にもなりました。



JA月形町 貯金窓口からATMサービス中止のお知らせ

平成29年1月11日(水)に当農協1階貯金共済店舗入り口に設置してありますATMのメンテナンスを実施させて頂くため、終日利用できなくなります。

大変ご不便をおかけいたしますが、当日は提携先のATMをご利用いただきますようお願いいたします。

ご不明な点は、貯金窓口(☎0126-53-3422)までお問い合わせください。

● 岩見沢税務署からのお願い ●

資金課税(相続税・贈与税・譲渡所得)に関する「個別相談」については、相談日を設けて「事前予約」を受け付けておりますので、電話による御予約をお願いします。

○ 個別相談の予約 岩見沢税務署(0126-22-0810 音声案内「2」)

なお、贈与税・譲渡所得(所得税)の申告のために来署される場合は、事前予約は不要です。

～岩見沢税務署に設置する確定申告会場の開設期間のお知らせ～

平成29年2月16日(木)から3月15日(水)【土・日曜日を除く】

上記開設期間前に来署された場合は、長時間お待ちいただく場合がありますので、ご了承願います。

JA 配置薬からのお知らせ

JA北海道厚生連のお得なキャンペーン

対象商品3,000円(税込)毎のご購入で応募葉書をお渡し致します

毎月20名
合計120名

北海道のおいしい幸せプレゼント

抽選で北海道のおいしい食品満載のホクレンギフトカタログをお届けします。

野菜、お米、お肉、加工食品、乳製品、水産物、麺類、お花など豊富なギフトの中からお選びいただけます。

選べる
カタログ



キャンペーン期間

平成28年10月1日～平成29年3月31日

応募方法

キャンペーン期間中対象商品のご購入3,000円(税込)毎に応募葉書を配置薬推進員よりお渡し致します。葉書にご住所、ご氏名、電話番号をご記入のうえ、投函してください。

抽選方法

キャンペーン期間中の各月毎に、ご応募いただいた葉書を厳正な抽選のうえ、当選者を決定します。なお、キャンペーン最終月平成29年3月分のご応募は平成29年4月5日消印まで有効とさせていただきます。

賞品のお届け

当選者決定後、各月毎に賞品をお届けします。

なお、賞品の発送をもって当選者の発表に代えさせていただきます。

対象賞品

野菜酵素青汁
青汁に野菜酵素をプラス
3g×31包
2,376円(税込)

草苧譜Ⅱ・Ⅲ
温まってしっとりお肌
1,050g(約42回分)
2,571円(税込)

黒しょうが21世紀
近大サブリの黒しょうが
120粒(約30日分)
4,968円(税込)

青の贅沢
クリルオイル配合
45粒(1日1～3粒)
1,620円(税込)

商品のお求めは
配置薬推進員

武部:090-8370-3636

商品、本キャンペーンに関するお問い合わせは
JA北海道厚生連 医薬事業部配置薬課

通話無料0120-99-4193(受付時間、平日8:30～17:00)

理事会だより

第一〇回理事会議案
 (平成二八年二月五日開催)

付議第一号 平成二九年度対策組合員の対応方針(案)について
 付議第二号 職制規程・就業規則・人事規程の改定について
 付議第三号 出資金譲渡の承認について
 付議第四号 改正農協法に基づく理事要件変更への対応に伴う役員選任要領の改正について

協議第一号 J A 月形町 出資金増口三ヶ年計画(案)について

報告第一号 平成二八年一〇月末現在組合員の動向について

報告第二号 平成二八年一〇月末現在財務状況について

報告第三号 平成二八年一〇月末現在事業計画・実績対比について

報告第四号 共済部門における内部統制文書・内部監査手続書
 ・経営定期点検票の改定について

報告第五号 条件緩和債権判定基準の改正について

報告第六号 犯罪収益移転防止法の定める特定事業者作成書面
 (取引のリスク評価書)の策定について

報告第七号 農業者戸別所得補償制度に係る仮渡金実施要領第四
 条対応期間等の要件設定について

報告第八号 平成二八年産 米・大豆の集荷・調整・検査入庫状
 況及び集荷販売状況について

報告第九号 平成二八年度第三回(一一月末)購買品現品棚卸の
 実施について



農 民 連 盟 こんにちは

- 11月 -

- | | | |
|-----|------------------------------|---------------|
| 1日 | 四役会議 | 四役・道農連委員長・事務局 |
| 4日 | 「TPP協定承認案の強行採決に断固抗議する緊急札幌行動」 | 委員長・書記長 |
| 5日 | 「TPP国会批准」に抗議する緊急キャラバン行動 | 委員長 |
| 7日 | 委員長・副委員長研修(～10日まで) | 委員長・副委員長 |
| 21日 | 「行き過ぎた農業政策に抗議する!!」空知農民代表準急集会 | 四役 |
| | 第6回拡大執行委員会 | 四役 |
| | 税担当者会議 | 書記長・次長 |
| 22日 | 平成28年度税務研修会 | 書記長・次長 |
| | 2016年全道書記長・事務担当者研修会 | 書記長・次長 |
| | 全道抗議集会 | 書記長・次長 |
| 25日 | 中間監査・常任委員会 | 監事・常任委員 |
| | 役員研修会(～26日まで) | 常任委員 |

みんなが好きな料理がおいしくできる

魔法のひき肉ストック

ひき肉のおいしい“簡単ストック”で、
 今晚のおかずから明日の朝ごはん&お弁当まで
 すぐ“使える”レシピが満載!

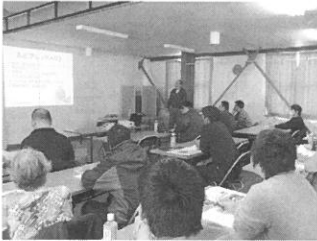


定価：1,404円(税込)
 B5判・並製・96頁

振り返って (広報誌より)

2月

各講習会 実施



南瓜・メロン・トマト栽培講習会



ミニトマト栽培講習会

1月

各生産組合 通常総会



月形花き生産組合



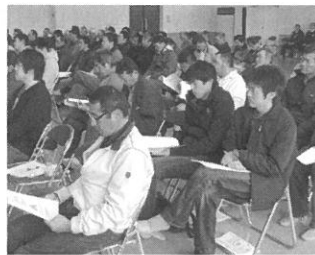
月形野菜生産組合

4月

第68回
JA月形町通常総会



会場 多目的研修センター



3月

平成28年度農業関係制度等説明会
青年部 スノーメッセージ作成



会場 多目的研修センター



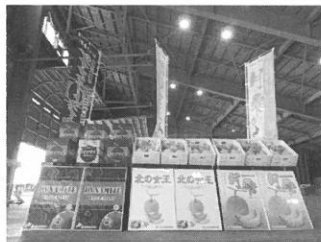
スノーメッセージ

6月

ダイナマイトスイカ
・月栗・北の女王初出荷



左から 小林氏、横井氏、明田氏



5月

北海カンロ、花き出荷開始



横井 広実 氏(右)



山崎 琢真 氏(右)

どうぞ輝かしい新春をJA共済・JAバンクと共に迎えてみてはいかがでしょうか。
みなさまのご来店をお待ち申し上げます。

平成28年巻

8月

樺戸神社 御神輿
奉納カラオケ大会



御神輿の様子



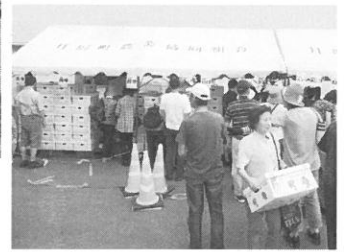
カラオケ大会の様子

7月

ビール祭り
つきがた夏祭り



JA月形町 &
㈱エーコープつきがた
ビール祭り



つきがた夏祭り

10月

28年産大豆収穫
農薬容器回収



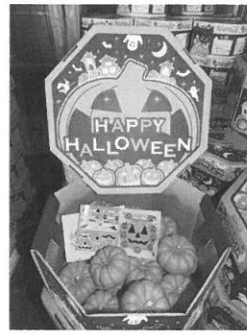
大豆収穫



農薬容器回収

9月

観賞用かぼちゃ出荷
28年産米収穫



観賞用かぼちゃ 出荷



28年産米収穫

12月

女性部ウインナー作り
ミニトマト栽培講習会



ウインナー作り



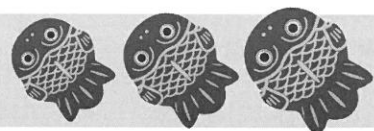
栽培講習会

11月

JA月形町青年部 研修旅行



JA月形町共済窓口 (電話 53-3421)
JA月形町貯金窓口 (電話 53-3422)



謹賀新年

本年も役職員一同よろしくお願ひ申し上げます。



代表理事組合長	水口裕行	代表理事	中山幸昇	代理理事	中本博義	代理理事	中條雅幸	代理理事	平尾秀雄	監事	柳元憲	監事	伊藤隆之	外監事	伊藤隆之
専務理事	阿部憲二	常務理事	村瀬昇	理事	山本博幸	理事	中山幸昇	理事	中本博義	理事	平尾秀雄	理事	柳元憲	理事	伊藤隆之
管理部長	佐藤隆之	管理部長	伊藤隆之	管理部長	伊藤隆之	管理部長	伊藤隆之	管理部長	伊藤隆之	管理部長	伊藤隆之	管理部長	伊藤隆之	管理部長	伊藤隆之
総務係	桶谷智子	総務係	阿部里枝	総務係	横山朋枝	総務係	伊藤智子	総務係	佐藤隆之	総務係	伊藤隆之	総務係	伊藤隆之	総務係	伊藤隆之

金融部長	西野宏希	金融部長	佐々木正美	融資係長	山岡里美	融資係長	吉田政明	融資係長	西田和然	貯金共済係長	真保佳幸	貯金共済係長	土井真夕美	貯金共済係長	山崎絵理	貯金共済係長	三浦日菜	貯金共済係長	佐藤昭洋	貯金共済係長	岩崎千鶴	貯金共済係長	岩崎千鶴		
業務部長(兼)営業推進課長	植松一彰	業務部長(兼)営業推進課長	河原芳一	業務部長(兼)営業推進課長	丸山愉生	業務部長(兼)営業推進課長	藤垣幸一	業務部長(兼)営業推進課長	藤井竜平	業務部長(兼)営業推進課長	横田竜平	業務部長(兼)営業推進課長	山田和代	業務部長(兼)営業推進課長	三枝良弥	業務部長(兼)営業推進課長	山田和代	業務部長(兼)営業推進課長	三枝良弥	業務部長(兼)営業推進課長	山田和代	業務部長(兼)営業推進課長	三枝良弥	業務部長(兼)営業推進課長	三枝良弥

花き	横道竜司	米	丸山富雄	米	辻裕哉	米	青柳彦	米	山本良一	米	松川守	米	伊藤圭二	米	佐藤直	米	笠間幸雄	米	加藤登志江	米	平塚準二	米	佐藤武美	米	戸田侑斗	米	藤原直人	米	石綿裕彦	米	本間直也	米	野澤彩香	米	上野剛
花き	横道竜司	米	丸山富雄	米	辻裕哉	米	青柳彦	米	山本良一	米	松川守	米	伊藤圭二	米	佐藤直	米	笠間幸雄	米	加藤登志江	米	平塚準二	米	佐藤武美	米	戸田侑斗	米	藤原直人	米	石綿裕彦	米	本間直也	米	野澤彩香	米	上野剛

(農協青年部)

部	長	岩崎貞治
副部	長	残間保
副部	長	大江圭輔
會計理事		刈田宗彰
営農理事		石川貴之
農政理事		安倍慎
代表監事		川口拓也
監事		山田直樹
参与		佐藤達也

(農協女性部)

部	長	福井百合子
副部	長	田嶋弘恵
代表監事		中村三賀子
監事		田巻祐三子



(月形町農民連盟)

委員長	長	金山伸吾
副委員長	長	我妻耕
書記	長	河原徹
書記次長		山田綾一
税対		斎藤武志
農政		渡辺建一
代表監事		石森誠
監事		山崎琢真
参与		松本秀樹
常務		常本勉

(月形花き生産組合)

組合長	長	青柳俊治
副組合長(兼)ユリ部会長		渡辺訓広
副組合長(兼)スターチス部会長		鈴木孝博
會計書記		本田了
カーネーション部会長		山田肇
デルフィニウム部会長		渡辺祥紀
草花部会長		野崎大輔
監事		山崎敏美
参与		直浩亨

(月形蔬菜生産組合)

組合長	長	植松博幸
副組合長(兼)南瓜部会長		米林信廣
副組合長(兼)果菜部会長		小林衡
副組合長(兼)トマト部会長		加藤隆行
會計		岡尚志
役員		滝沢剛
監事		石森誠
参与		永井宗壹
常務		内藤康志

(月形ミニトマト生産組合)

組合長	長	横井政美
副組合長		坂下彰
會計		一柳和彦



J A 月形町年末年始営業時間のお知らせ

年	日付		一般業務	貯金共済店舗			ホクレン 給油所	イーコープ	
	月	日		共済窓口	貯金窓口	A T M			
28	12	28 (水)	8:30 ~ 17:15	8:30 ~ 17:30	9:00 ~ 16:00	8:45 ~ 17:30	8:00 ~ 18:00	9:00 ~ 18:30	
		29 (木)	8:30 ~ 17:15	8:30 ~ 17:30	9:00 ~ 16:00	8:45 ~ 17:30	8:00 ~ 18:00	9:00 ~ 18:30	
		30 (金)	8:30 ~ 17:15	8:30 ~ 17:30	9:00 ~ 16:00	8:45 ~ 17:30	8:00 ~ 17:30	9:00 ~ 18:30	
			年末大掃除 16:00 ~						
		31 (土)	休 業						9:00 ~ 15:00
29	1	1 (日)	休 業						
		2 (月)	休 業						10:00 ~ 14:00
		3 (火)	休 業					8:00 ~ 17:30	休 業
		4 (水)	休 業	8:30 ~ 15:00	9:00 ~ 15:00	8:45 ~ 15:00	休 業	休 業	
		5 (木)	休 業	8:30 ~ 15:00	9:00 ~ 15:00	8:45 ~ 15:00	休 業	9:00 ~ 15:00	
		6 (金)	8:30 ~ 17:15	8:30 ~ 17:30	9:00 ~ 16:00	8:45 ~ 17:30	8:00 ~ 17:30	9:00 ~ 18:00	
		7 (土)	8:30 ~ 12:00	休 業				8:00 ~ 18:00	9:00 ~ 18:00
		8 (日)	休 業						10:00 ~ 17:00
		9 (月)	休 業					8:00 ~ 17:30	10:00 ~ 17:00
1月10日(火)以降全業務平常営業									